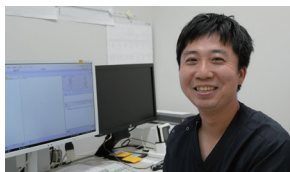


その下痢、大丈夫ですか？その②

消化器内視鏡学会専門医 八木専先生に
「大腸がん」について伺いました。



▲八木 専 医師

コール摂取などの生活習慣が原因の大半を占めます。多くは1週間内で改善します。感染症ではノロウイルスが有名ですが、それ以外のウイルスや細菌などでも感染力の強いものがあります。ほとんどは自然に治癒しますが、感染力が強い場合は頻回の下痢や嘔吐によつて脱水症、電解質異常を引き起こす可能性がありますので、特に子どもや高齢者では注意が必要です。また、成人であっても腹痛の程度が強い場合、水分がとれない、血便を伴う場合などは点滴や検査が必要になること

もあるため、受診をおすすめします。

下痢の原因は様々です。主に2週間内の急性下痢症、2週間以上の慢性下痢症にわけられます。基本的には急性下痢症がほとんどで、あまり問題にならないことが多いです。

急性下痢症はウイルスや細菌などによる感染性腸炎や食べ過ぎやアルコール摂取などの生活習慣が原因の大半を占めます。多くは1週間内で改善します。感染症ではノロウイルスが有名ですが、それ以外のウイルスや細菌などでも感染力の強いものがあります。ほとんどは自然に治癒しますが、感染力が強い場合は頻回の下痢や嘔吐によつて脱水症、電解質異常を引き起こす可能性がありますので、特に子どもや高齢者では注意が必要です。また、成人であっても腹痛の程度が強い場合、水分がとれない、血便を伴う場合などは点滴や検査が必要になること

慢性下痢症はただの「胃腸炎」が原因ではない可能性が高くなり、特に注意が必要です。例えば、過敏性腸症候群（ストレスなどによつて腸の動きが過敏になり、腹痛や下痢が長期間続く疾患）、薬剤性腸炎（抗生物質、抗がん剤、胃薬、血圧の薬など薬が原因となる腸炎）、潰瘍性大腸炎やクローン病（腸の免疫異常によつて起こる腸炎）、大腸癌などがあげられます。他にも原因となるものなど様々ありますが、これらは病院で、

きちんと診察・検査を受け、早期発見・早期治療をすることが重要です。長引く下痢があれば必ず病院にいきましょう。

社会福祉法人



恩賜 財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1-6

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>

0898-47-2500

